

遠野町地域教育協議会広報

令和3年3月4日発行 第52号 編集・発行 遠野町地域教育協議会・遠野地区センター

「光の園幼稚園」

元気いっぱい 光の子

- <教育目標>
- 1、丈夫なからだで、元気いっぱい遊べる子ども
 - 2、神様の愛にこたえ、はげむ子ども
 - 3、良く見 よく考え 一生懸命やりとおす子ども



みんなの好きな滑り台



茶道教室（年長児）



お誕生会



園庭での雪遊び

<幼稚園は、幼児期の生きる力の基礎となる学びの場>

子ども達は、生活や遊びの中で様々な体験を積み重ね、幼児なりの「考え方」を広げていきます。どうしてかな？どうなるのかな？心を動かしながら予想したり、確かめたり、自分なりに納得しながら考え方を深めていきます。子ども達の学びが深められるように、環境を整え、教材を工夫し、一人一人に応じた関わりを幼稚園では大切にしています。幼稚園での学びが小学校へ繋げられる為にも、知識だけではなく、基本的な生活習慣を身に付け、人との関わり（思いやりの気持ち）が上手に出来る子に育ててほしいと願います。

（担当 後藤 昌子）

「かみさまにまもられて」

聖光こども園は、今年4月に初代アンネ・ブゼル先生が創立してから100周年を迎えます。これもひとえに地域の皆様方のお力添えのおかげと感謝しております。

100年という歴史を振り返り2021年11月6日(土)に100周年記念事業を行う予定です。これからも様々の面でご協力、お力添えをお願い致します。

今年度は78名(0歳～5歳児)のお子様をお預かりしております。コロナ禍で行事が変更や縮小になりましたが、地域との交流、異年齢保育、礼拝などを通して豊かな心が育まれています。

これからも一人ひとりの個性を大切にしながら、神様に守られて過ごしていきたいと思っております。

七夕飾りを見に行ったよ☆



私は大きくなったら
何になろうかな～



ハッピーハロウィーン♪
炭治郎と禰豆子そっくり



夕涼み会

魚ゲット～



キリスト降誕劇



～ちっちゃくたって大きな夢 ちっちゃくたって大きな愛～

社会福祉法人遠野市保育協会 遠野保育園



「心豊かに、たくましく生きる子どもを育む」という保育理念のもとに、子ども達が豊かな人間性と自律心を持って、健康で安全に過ごせるように保育を進めています。

コロナ禍で行事が制限される1年でしたが、子ども達に変わらず経験させたいことを考えてきました。夏にはお祭りごっこが園全体で盛り上がり、子ども達のアイデアから色々な屋台が登場し、異年齢児で交流しながら楽しみました。

また、保護者の皆様、地域の皆様の協力のもと、様々な活動を行ってきました。郷土芸能の伝承である南部ばやしでは、遠野祭りが中止になった中でもお祭りの雰囲気を感じて元気になってほしいという願いを込め、地域に出向いて披露する機会を設けました。長寿庵さんでは、子ども達が心を込めて踊る姿を見て拍手をして喜んでくださいました。年長児が踊る姿を身近で見て、憧れの気持ちをもった年下クラスが、今後も大切につないでいきたいと思えます。



いらっしゃいませ～！
やきそばはいかがですか？



屋台ごっこの食べ物が、給食のメニューになったよ！
おいしい～！

～長寿の郷・長寿庵さんとの交流～



南部ばやしを披露し、たくさんの拍手をもらいました。



ハロウィンの日には、ちびっこおばけたちが登場！おかしをくれないといたずらしちゃうぞ！



ミニお遊戯会では、施設の方がサンタに扮して応援にきてくれました。

(担当 立花 瑞樹)



心も体も 動かしたくなる 環境づくり

— 神明保育園 —



六日町に立地する神明保育園は、子ども達が五感で四季折々の変化を楽しめる環境に恵まれています。園舎裏の遊歩道は、子ども達や地域の方々のお散歩コースとなっています。電車の音が聞こえてくると、手を振って見送る子ども達。冬季は土手滑りのスリルも味わえます。遊歩道の側を流れる早瀬川では、ハクチョウやカモを見つけて大興奮。鳥たちの声を言葉にして友達とのおしゃべりが弾みます。園庭側の伊勢両宮神社の境内では、子ども達が作った雪だるまが一面の雪景色を見渡しています。新年には、友達や保育士と一緒に初詣に行きました。「元気に大きくなれますように」と、小さな手を合わせ、神様にお願いする姿がありました。

田んぼと畑は園の手作りです。畑は、子ども達が育てたい野菜を選び、種まきから水やり、収穫という一連の農耕体験を楽しみました。大きく生長した野菜を収穫する顔はどの子も誇らしげで、給食やクッキングで美味しくいただきました。園庭にあるミニトマトは遊びの合間に頬張るなど、暑い夏場には水分補給の役目も果たしたようです。田んぼは、春にどろんこになって代掻きと田植えをし、秋には黄金の稲がたわわに実りました。鎌で刈ってはせがけ、牛乳パックでの脱穀。精米すると 1.2 kg になりました。米とぎと炊飯にも挑戦。炊き上がりの炊飯器を笑顔でのぞき込む子ども達。炊き立てのご飯はおにぎりにして味わいました。このように、恵まれた自然環境を十分に活かしながら保育を行っています。



今年度は、園庭の環境づくりを研修主題に掲げ、子どもが「遊んでみたい」と心を動かしてくれることを願い、職員で吟味しながら教材を選び、置く場所を考え、子どもの動きを予想して環境を構成しました。そして、遊ぶ子どもの思い・気持ち、何をしようとしているのかを子どもから学び、その子どもの思いが実現するよう再び教材を整えていきました。このことが一助となり、子ども達は心と体を動かし、夢中になって遊んでいます。

これからも、子ども達が「探索したい」「挑戦してみよう」と思えるような環境づくりに努めてまいります。

(文責：主任保育士 大萱生 瞳)